



平成 26 年 5 月 14 日

各 位

上場会社名 東洋エンジニアリング株式会社
 代表者 取締役社長 石橋 克基
 (コード番号 6330)
 問合せ先責任者 経理部長 三代川 康雄
 (TEL 047-454-1521)

業績予想と実績の差異および特別損失の計上に関するお知らせ

平成 25 年 11 月 13 日に公表いたしました業績予想数値と本日公表の実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。併せて、特別損失の計上についてもお知らせいたします。

記

●業績予想と実績の差異

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 250,000	百万円 2,000	百万円 4,000	百万円 0	円 銭 0.00
実績値 (B)	230,124	455	4,942	967	5.05
増減額 (B)-(A)	△ 19,876	△ 1,545	942	967	5.05
増減率(%)	△ 8.0	△ 77.2	23.6	-	-
(ご参考)前年実績 (平成 25 年 3 月期)	228,723	1,593	4,032	1,457	7.60

差異の理由

売上高は、198 億円減収の 2,301 億円となりましたが、一部の案件の収益改善額が、売上高の減収による減益効果を上回る一方、円安による海外子会社の販管費円換算額の増加等により、営業利益は、前回公表値に対して 15 億円減益の 4 億円となりました。

一方、持分法投資利益の増加や貸倒引当金戻入額の増加などにより、営業外損益で 24 億円増益となった結果、経常利益は、前回公表値に対して 9 億円増加の 49 億円となりました。

更に、投資有価証券の売却益と持分変動利益を特別利益として 20 億円、のれんならびに不動産の減損損失として 12 億円を特別損失にて計上し、税金費用控除後の当期純利益は、9 億円となりました。

なお、期末配当につきましては、前回公表のとおり 3 円を予定しております。

●一部の連結子会社への貸付金に関する特別損失の計上

当社は、平成26年3月期の個別決算において、下記のとおり特別損失を計上しました。

(1) 当該事象の内容

一部の連結子会社の財政状態並びに業績の悪化を勘案し、当該子会社向け貸付金に対して貸倒損失を、特別損失として計上いたしました。

(2) 業績に与える影響

平成26年3月期の個別決算において、貸倒損失7,237百万円を計上いたしました。

なお、当該損失は連結財務諸表上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上